（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サイクリング環境向上事業
事業主体 （連絡先）	特定非営利活動法人 北アルプス自転車協議会 長野県北安曇郡白馬村北城 3020-1
事業区分	③ 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	878,940 円（うち支援金：　703,000 円）

事 業 内 容

自転車の走行ルール、ヘルメットの着用方法と服装、自転車のハンドサインなどの講習動画を作成し、自転車安全講習会を 11 月 26 日に白馬村多目的ホールで開催した。参加者数 22 人で白馬村内の小中学生とその保護者が参加。マウンテンバイククラブに所属している子も知らないことは多く、充実感のある内容だった。

また、「思いやり 1.5m 運動」の白馬バージョンデザインを募集し、白馬高校美術部のデザインを採用し、ステッカー・マグネットを作成。ステッカー、マグネットはこの運動の趣旨を伝えつつ、イベント等で配布。

上記３つの項目を実施し、自転車と車両側の両方から交通ルールやマナーを伝える機会を設けた。自転車にとって安全で安心な地域づくりの第一歩を踏み出せた。



【自転車安全講習会 状況】

【目標・ねらい】

① 子どものころから走行ルールを学ぶ機会を作る。
② 車両側にも自転車と共存する意識を持ってもらう「思いやり 1.5m 運動」の推進
③ サイクル環境を向上させ、自転車文化を根付かせる

事 業 効 果

動画を使った安全講習を実施し、可能な限り多くの方に知ってもらうことで自転車走行ルールやマナーを向上させる。車両所有者には、思いやり 1.5m 運動の内容説明及びステッカー・マグネットの配布により車と歩行者だけでなく、自転車も共存できる地域となり、自転車利用の高いエリアになる。

・安全講習受講者数　22 名
・思いやり 1.5m 運動のｽﾃｯｶｰ・ﾏｯｸﾞﾈｯﾄ配布数　430

※自己評価【　B　】

【理由】
・自転車安全講習会の内容に多少の変更はあったものの、伝えたいことは実施できた。
・ステッカー、マグネットの配布も進んでおり、少しずつ理解者は増えていると予想される。

今後の取り組み

今回の自転車安全講習会を実施してみて、小学生には内容が難しすぎる部分があるため、もっとシンプルで易しい内容に変更していく方が良いと感じた。また今回できなかった大型車の死角を実際に体感する内容の講習会は実施していきたい。

来年度は講習会の実施を白馬エリアだけでなく大町市や小谷村、池田町、松川村にも広げていき、自転車側の知識と意識を高めつつ、同時に思いやり 1.5m 運動のステッカーやマグネットを有効活用して着実に進めていき、安全で安心感のあるサイクリング環境を作っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある